

ヒートショック、暖かい家で守れ

裸で倒れる前に

10月から増加

急激な気温差で血圧が変動し脳卒中や心筋梗塞などを引き起こすヒートショック。冷え込むトイ



断熱材で包み込むS W工法

有効な対策は部屋間の温度差をなくすこと。「断熱材が不十分な古い住宅は隙間風で部屋が暖まらにくい。リフォームも新築も、高气密・

レや脱衣所、浴室など極端な温度差のある室内で引き起こしやすい。入浴中に急死した人数は年間1万9000人に上るという推計もあり、交通事故死者数2600人を大きく上回る。



中山社長

高断熱の家が選ばれています」と話すのは翔工務店、中山正太郎社長だ。

同社が手掛けるスーパーウォール(SW)工法は、断熱材で家を包み込み、暖かい空気を逃さない魔法瓶のような空間を実現する。もちろんリフォームでも「寒い家」対策は可能だ。寒い在来浴室をユニットバスに、窓を2重サッシにするこ

とで気密性アップ。コンセントを増設し、暖房機を設置するのも手軽でお勧め。「節約や我慢しすぎは命にかかります。無理なく暖かい快適な家づくりを提案します。お気軽にご相談下さい」

注文住宅・リフォーム・不動産

0120-40-3939

営業時間 9:00~18:00 日曜・祝日 定休日 相模原市南区双葉1-12-24



株式会社 翔工務店

www.sho-daiku.com

